

Smart City Week 2011

開催報告書

2011年11月

日経BP社
Nikkei Business Publications, Inc.

Nikkei BP
CT
lean Tech
Institute

新スマートシティ宣言

世界各地で、エネルギー利用や都市運営の効率化を図るスマートシティ・プロジェクトが進んでいる。

“都市革命”とも言うべきスマートシティを実現するには、これまでの都市化の延長ではなく、都市のあるべき姿を改めて考えることが不可欠だ。そこで私たちは以下のメッセージを「新スマートシティ宣言」として、世界に向けて発信する。

1. 主役は市民と企業

スマートシティは、市民とそこで産業を手がける企業が主役である。市民にとって最適な社会をともに実現する。

2. 目的は市民の生活の質向上

スマートシティは、市民の生活の質(QOL)をより向上させることを目的とする。

3. 明確なビジョンの下に推進

スマートシティには、明確なビジョンが重要であり、そのビジョンの下に推進する。

4. 常に進化を先取り

スマートシティは、市民のニーズや地域社会の変化を先取りし、進化し続ける。

5. 日本の世界への貢献

日本は、災害克服や少子高齢化対応といった非常に難しい課題解決を通して良い社会づくりの経験を積み、世界に向けて発信することによって貢献する。

2011年10月28日
SmartCityWeek2011ステアリングコミッティ

開催主旨

新スマートシティ宣言！ ～安全で持続可能、そして高効率な都市づくりを目指して～

日本では、東日本大震災からの都市復興に向けて、スマートシティの考え方を導入することが不可避になりました。安全で持続可能な都市をつくり、その上で省エネルギーかつエネルギー利用効率の高い都市の構築が重要になっています。海外では「スマートシティとは何か」が改めて議論されています。各種の実証実験の結果から、スマートシティの評価手法が欧州を中心に検討され、スマートシティの最大の受益者である住民を巻き込んだ流れになろうとしています。中国では、単なるエコシティづくりから、雇用と住生活を満たすための都市づくりに重点が置かれるようになりました。

こうした状況下で日本の産業界と政府の果たす役割は極めて大きいと言えます。日本の都市再興によって安全で持続可能というコンセプトを盛り込んでスマートシティ像を作り出すこと、そしてそれをモデル化することによって海外の都市づくりに提案していくことは、成長戦略・国際貢献を同時に満たすソリューションとして、日本には無くてはならない流れになっています。

2030年までの規模が累積4000兆円にもなる「スマートシティ」に関わる企業や政府・自治体の関係者が急激に増えています。「スマートシティとは何か？」から始まって、「ビジネスモデルをどうすべきか？」「事業参入の考え方は？」「自社の技術・製品で何ができるか？」など産業立ち上げに向けた多くの疑問が登場しています。産業として出来上がっていないので、確立した事業ルールなどはまだありません。

スマートシティ像を作り上げ、スマートシティ産業を興し、そして大きな流れを作り出していくためには、世界の知見と情報が集まる仕組み、そして世界へアピールする仕組みが不可欠です。日本にはスマートシティ技術・政策はたくさんあり、世界各国の問題解決に役立つ知見や技術を日本企業はたくさん持っていますが、それらをまとめて議論し、情報共有し、情報発信していく場がありません。そこで日経BP社では「Smart City Week 2011 - 新スマートシティ宣言！」をスタートすることといたしました。国内外スマートシティのキーパーソンや政府・自治体関係者を招聘し、新たなスマートシティのあり方を問う国際会議や、スマートシティ市場における先進企業の取り組みを議論するリーダーズ・サミットを中心に、要素技術にフォーカスした多数のセミナーや展示会を開催いたします。

スマートシティに関わる皆様、これから関わることになる皆様の情報発信/共有/交換の場として、マッチングやネットワーク拡大の場として、事業拡大の場としてご活用いただけることを願っております。

開催概要

- 会期：2011年10月24日（月）～28日（金）
- 会場：パシフィコ横浜
- 主催：日経BP社
- 特別協力：横浜市
- フォーラム受講者数：5,514名
- 展示会入場者数：18,488名
- 総来場者数：24,002名

横浜市長スピーチ

横浜市長
林 文子 氏



ようこそ横浜において頂きました。370万人の横浜市民を代表いたしまして、心から皆様を歓迎いたします。この度、日本が持つスマートシティの技術や政策をまとめて議論し、世界へアピールする初めての試みである「Smart City Week 2011」がここ横浜にて盛大に開催されますことを本当にお慶び申し上げます。

横浜市では現在の安心と将来の活力を生み出すために、また大都市横浜が日本の経済成長の一翼を担うという気持ちでさまざまな取り組みを進めております。その目指すところは、まさに安全で持続可能な都市、スマートシティであり、この会議を通じてスマートシティの議論が深まり、その成果が横浜から世界に発信されることを大いに期待しております。

ご挨拶内容より抜粋
文責：日経BPクリーンテック研究所

宮城県知事メッセージ



宮城県知事
村井 嘉浩 氏

3月11日の東日本大震災で、宮城県は大変大きな被害を受けました。会場のお集まりの皆様にお大変温かいご支援、ご協力を賜りましたことを、この場をお借りいたしまして心より感謝を申し上げます。

よく東日本大震災と阪神淡路大震災を比較されます。阪神淡路大震災は、大きな地震で被害を受けたところにまた新たな町づくりをすることができました。今回、東日本大震災の津波で被害を受けたところは、元のように町づくりをすることは私はできないと考えております。新たな場所を造成し、そして新たな町づくりをしなければなりません。大変ではありますが、私はある意味で大きなチャンスだととらえております。

今、日本は少子高齢化の中で人口減少期に入りました。今回津波で被害を受けた東北の沿岸部の地域は、人口減少が進み、少子高齢化が最も進んでいる地域であります。そこで新たな町づくりが成功したならば、50年後、100年後の日本の新たな町づくりの絵を描くことができると私は考えております。

その際、私は最も大切なコンセプトがスマートシティだと思っております。エネルギーを効率的に活用し、持続可能な社会をつくっていく。その中で人々がどのように幸せに暮らしていけばいいのか。ICT、ITを活用した地域づくりも含めて、大きなコンセプトを持って町づくりにチャレンジしてまいりたいと考えております。

そのためには多くの皆様のお知恵が必要でございます。今日会場にお集まりの皆様のお知恵をぜひともお借りしたいと思っております。今回5日間、この国際会議で皆様から得られた知識やノウハウをぜひとも被災地宮城県のためにご活用いただきたいと思います。大いに期待をしております。

国土交通省ご挨拶



国土交通省 都市局
市街地整備課長
望月 明彦氏

持続可能な都市の構築を目指し、国内外のさまざまな分野の方々が一堂に会し、都市づくりの在り方について意見交換を行うという非常に意義深い会議が開催されることに対し、国土交通省を代表いたしまして関係各位に敬意を申し上げます。

我が国では1950年代以降の高度経済成長に伴う急激な都市化に対し、都市計画をはじめとする諸制度の充実、技術革新、計画的な都市整備を行うことにより、さまざまな都市問題を克服してまいりました。そして現在では急激な高齢化と人口減少、さらには地球環境問題に対応した持続可能な都市づくりに取り組んでいます。

これまでの我が国の都市づくりの経験や技術、さらには現在直面をしている環境分野での取り組み、成果などが世界の環境問題の克服と持続可能な都市づくりに大きく貢献できると幸いです。本日の会議が有意義なものとなることを心より期待しております。

ご挨拶内容より抜粋
文責：日経BPクリーンテック研究所

経済産業省ご挨拶



経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部長
新原 浩朗 氏

私の立場からエネルギーを見てみますと、3つ大きな節目があったと思います。まずは、1970年代の石油ショックで、その後30年の経緯を見ると、実質GDPが2倍になり、エネルギー効率は37%改善しました。この克服の過程を通じて、我が国は世界

最高レベルのエネルギー効率を達成するようになりました。

次が京都議定書の締結です。実績で見ますとエアコンで70%、冷蔵庫で50%以上エネルギー効率が改善し、新車の燃費は50%ぐらい改善するということになっています。

第3の節目は今年です。これは言うまでもなく、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故。これをきっかけにして我々のエネルギー政策の根本が問い直されているからです。その中で、過去の2回と今回が大きく違う点が、電力需要のピークをコントロールするというものです。

こうした背景から今年、このスマートコミュニティというものがエネルギー政策の中核になると思っています。そしてスマートコミュニティに関しては、数多くの実証実験が進められていますが、私は今年、この実証のフェーズを終結させなければならない、実際に投資をしていただく方に対する支援というところにシフトさせなければならないと思っています。

スマートコミュニティについては、企業の中で様々な議論がなされていますが、「まだ技術がこなれてない」、「まだ値段が高い」といった意見も多いと聞いています。うちのスタッフにも結構そういうところがあったりします。

ただ、新しいマーケットが生まれ、新しいイノベーションが起きるときに、すべての条件が整っていることはありません。コストは合っていて、技術がこなれていて、それでイノベーションが起きたなんていうことはないのです。こうした中でブレークスルーするために、我々はリスクを取っていただく方を求めています。そういう企業、もっと言えばそういう企業の中の社員の方々に対して、我々は支援を惜しまないようにしたいと思っています。

講師からのメッセージ01

Delhi Mumbai Industrial Corridor
Development Corporation CEO & MD
Amitabh Kant 氏



SCW2011の開催おめでとうございます。
昨年もSmart City国際会議に参加しましたが、
今年はさらに規模を拡大し、より素晴らしい会議となっていて非常に感銘を受けました。

Smart Cityは、現在のpilot stage (パイロット) から今後はreal business stage (実ビジネス) へ移行していきます。インドを含め世界中で大きなビジネスの発展をもたらすでしょう。今後のSmart City Weekに期待しています。



英国エネルギー研究センター (UKERC)
ナレッジエクステンジアソシエート
Aidan Rhodes 氏

Smart City Week 2011に講師として参加できて非常に嬉しく思います。私自身が楽しく講演が出来ただけでなく、受講されている方々から非常にレベルの高くユニークなご質問を多数頂けたことが印象的でした。

また、会議および展示会の全てが非常によくオーガナイズされており、とても成功した会だったと感じています。そのような会議で皆様と同席できて光栄です。次回の開催を楽しみにしています。

講師からのメッセージ02



アジア開発銀行 東アジア局
都市開発スペシャリスト
Jingmin Huang (黄敬闽) 氏

この度は素晴らしい国際会議を開催してくださり、ありがとうございました。イベントは大成功だったと思います。講師としてお招き頂いたことに感謝するとともに、今回ここで学び得た知識をアジア開発銀行の仲間と分かち合いたいと思います。

(英) Arup Fellow / Director /
Senior Sustainability Consultant
Chris Twinn 氏



素晴らしい会議でした。すべてが見事にオーガナイズされており、感激しました。

写真集01

(全体像)



パシフィコ横浜



講師歓迎会



会場受付

写真集02

(K-1 新スマートシティ宣言 ・キーノート)



IEA(国際エネルギー機関)
前事務局長 田中 伸男 氏



世界銀行 Vijay Jagannathan氏



IWA(世界水協会) Paul Reiter氏



会場全景

写真集03

(K-2 新スマートシティ宣言 ・ラウンドテーブル)



パネルディスカッション (K-2)



中国社会科学院
潘家華氏



京橋築地小学校 小津真志保さん

写真集04

(K-3 スマートシティ国際会議)



会場全景



広州知識城 Quek Keng Ngak 氏



インドネシア MPAプロジェクト
Luky Eko Wuryanto氏



Q&Aセッション (K-3)

写真集05

(K-5 新スマートシティ宣言
・リーダーズ・サミット)



東芝・佐々木則夫氏



日建設計・岡本慶一氏



日本IBM・橋本孝之氏



DMIC総裁 Amitabh Kant氏



日産自動車
・志賀俊之氏



日本HP・小出伸一氏



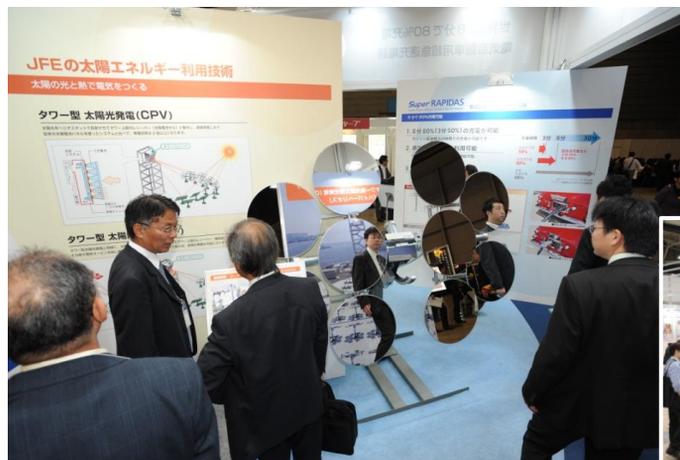
日立製作所・齊藤裕氏



イーソリューションズ
佐々木経世氏

写真集06

(Smart City Week 2011展示会)



関連報道01

nikkei BPnet BizCC
お知らせ: ビスカレッジは 日経Bizアカデミーと連携しました

特集 コラム キーワード クイズ 書籍 企業・新

総合トップ > 電子・機械

電子・機械

トピックス PR

- 「この品質でこの価格!？」 品質にこだわるなら「大正製菓のグルコサミン」
- 今からでも遅くない! 起業の基礎を徹底解説【中小機構 J-Net21】
- 50代、養え知らずの日々。サントリーのマカを今すぐ試してみませんか?
- 学びなおし支援サイト【学びチャンネル】新連載 おとなの授業参観 必見一読!
- 仕事も自分も右肩上がりに、学が意欲を応援するBPnetビスカレッジの講座必見

TechOn!

【SCW】「日本の技術/サービスの市場価値は高い」、国際会議Smart City Week 2011に集まった世界のプロジェクトリーダーが指摘

2011年11月07日 RSS Twitter はてな

新たなスマートシティのあり方をテーマに、2011年10月24日～28日に開催された国際会議&展示会「Smart City Week 2011」。3日目の10月26日には「スマートシティ国際会議、世界のプロジェクト責任者が日本に集結!」と題した国際会議が開かれた。世界各地で進むスマートシティ関連プロジェクトの最新状況を知ると同時に、より具体的なビジネスチャンス、ビジネスニーズを明らかにするのがテーマである。



図1 ● 日経BPクリーンテック研究所の専攻実人主任研究員のイントロダクションで幕を開けた「スマートシティ国際会議」
[画像のクリックで拡大表示]

2011年11月7日 日経BP TechOn!
<http://www.nikkeibp.co.jp/article/news/20111107/289739/>

www.people.com.cn 关注天宫、神八惊世一吻

人民网 people.com.cn

人民网 > 要讯

日本“新智慧城市周”横浜落幕

2011年11月01日 14:30 来源: 人民网-国际频道 手机访问



图1 ● 日経BPクリーンテック研究所の専攻実人主任研究員のイントロダクションで幕を開けた「スマートシティ国際会議」
[画像のクリックで拡大表示]

人民网北京11月1日电 (记者 贾文婷) 28日, 由日经社主办的“新智慧城市周”在横滨开幕并会以中心圆满落幕。本次活动为期5天, 由日经社主办及展示会两部分组成, 本届高峰论坛“新智慧城市”, 搭建国际化交流平台。

如今, 智慧城市正成为世界各城市如火如荼建设热点, 专家学者从技术层面以及学术角度提出, 智慧城市“智能应用”及“智能应用”, 后者, 被定位为“次文化社区, 社会基础设施”的领域。北九州府通过由日经社主办“新智慧城市”的论坛及首次开发, 约3.11大地震的复兴工作, 将以“新城市”及“新应用”为突破口, 另一方面, 中国、印度等发展中国家, 开始将“智慧城市”作为重要驱动力, 领跑全球建设, 据统计, 全球“智慧城市”的总投资额将在2020年达到260万亿美元, “新智慧城市”的论坛将吸引全球精英, 在论坛的框架下, 举办多场论坛及峰会旨在参与智慧城市建设的业界提供一个交流条件, 和交易的平台。

据悉, 论坛吸引了来自中国的优秀企业家和行业领军企业的代表们出席, 并表示, “愿意参加‘新智慧城市’展会, 希望可以以此为契机, 让更多的日本‘了解’到中国的光彩世界, 也将更多的中国企业参与进来。”

【1】 【2】 【3】

2011年11月1日 人民網
<http://world.people.com.cn/GB/16097308.html>

関連報道02



11月1日(火)放送「BBTスーパーニュース」にて「スマートシティ」をテーマにしたニュース企画として放送されました。(富山テレビ放送のHPより)

NEWSLINE



(English)

NEWSLINE

Broadcasting every day for 30 minutes on the hour every hour
(10 or 15 minutes for some time slots)

Broadcast every day, NEWSLINE provides detailed updates on the ever-changing news in an easy-to-follow manner, focusing mainly on Japan and other Asian countries. It also presents global weather forecasts and thorough coverage of business-related news.

[NEWSLINE Anchors & Reporters](#)

11月8日(火)放送「NHK World」にて展示会の様子や展示品などが紹介されました。(NHK WorldのHPより)

関連報道05



【日経新聞電子版】(2011/11/7)

スマートシティに新たな課題、コンセプトの抜本的見直しで克服へ

<http://www.nikkei.com/tech/ecology/article/g=96958A9C93819499E2E6E2E39E8DE2E6E3E3E0E2E3E3E2E2E2E2E2E2;p=9694E3E3E2E7E0E2E3E2E0E0E2E7>



【日経ビジネスオンライン】

小学校6年生の講演にたじたじ

閉幕したSmartCityWeek2011、討論会での一場面

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/tech/20111104/223619/?ST=tech>



写真1 「新スマートシティ宣言」の発元の様子

■「ビジネスモデルが見えない」

1～2年ほど前から、世界中でスマートシティのさまざまな実証実験が活発に展開されている。これらの実験を通じて、スマートシティを実現する技術については着々と検証が進んでいる。一方、抜本的な見直しが行われたこと、このところあらためてクローズアップされているのが「事業化する際のビジネスモデルが見えない」「必要な資金をどう調達するのか」といった根源的な問題である。これを解決するには「何のためにスマートシティ化を進めるのか」「スマートシティとはそもそも何か」というところまで遡って議論し、社会的な合意形成を進める必要がある。今回の新スマートシティ宣言には、議論を進める上で戦点になるであろう項目が掲げられた。

プログラム一覧

全プログラム一覧

24 (月)	<p>K-1 (無料) International Conference 新スマートシティ宣言：都市問題と解決策（キーノート） 防災、健康・福祉・高齢化、人口、資源・水循環、エネルギー……これからの都市に求められる要件</p>				
25 (火)	<p>K-2 (無料) International Conference 新スマートシティ宣言（Round Table） 日本発！新しいスマートシティのあり方を徹底討論</p>	<p>T-1 Technology Session 再エネビジネス 次の本命 5つの有力技術 事業化の糸口と成長のシナリオ</p>	<p>T-2 Technology Session スマート・ネットワーク 家庭の省エネ通信/ネットワークの主導権争い激化、本命は？</p>		
26 (水)	<p>K-3 International Conference スマートシティ国際会議 世界のプロジェクト責任者が日本に集結！</p>	<p>T-3 Technology Session 位置づけ高まる日本のエネルギー新ビジネス 政策転換が後押しする電力マネジメントサービスと分散電源</p>	<p>T-4 Technology Session スマート・エネルギー エネルギーを賢く貯めて、賢く使う</p>	<p>Theme Session (満席) 今後の日本のエネルギービジョン、モビリティビジョンと天然ガス自動車 ～天然ガス自動車4万台普及記念講演～</p>	<p>日本スマートシティ会議</p>
27 (木)	<p>K-4 International Conference 未来都市計画会議 先駆者が示す新しい都市ビジョンと実現のカギ</p>	<p>T-5 Technology Session スマートハウス・ビル・ストア HEMS/BEMSの実証実験から課題と方向性を探る</p>	<p>A-1 B-1 C-1 Technology Session 次世代モビリティ 【A1：車両編 ～HEVやEVの最新動向】 【B1：要素技術編 ～電池やモータの最新動向】 【C1：中国のEV/HEV最新動向】</p>	<p>Theme Session (満席) スマートシティ/スマートエネルギー最新動向</p>	<p>Special Session (無料) 横浜デーー世界に誇る横浜のスマートなまちづくりを知る日</p>
28 (金)	<p>K-5 (満席) International Conference 新スマートシティ宣言：リーディング企業の戦略（リーダーズガミット） 次世代への動向、TOPからの提言</p>	<p>T-6 Technology Session スマート・ライティング LEDとITを融合し、“賢い照明”を実現へ</p>	<p>A-2 B-2 Technology Session 次世代モビリティ 【A2：車両編 ～EVやHEV/向け技術の最新動向】 【B2：要素技術編 ～カーエレクトロニクス技術の最新動向】</p>	<p>T-7 Technology Session EV・電池業界 ビジネス&技術展望 2015 日本・欧米・中国におけるスマートコミュニティ事業機会を明らかに</p>	<p>Theme Session (無料) 東芝が提案するスマートコミュニティ</p>

ステアリングコミッティ紹介

「新スマートシティ宣言」の世界への発信に向けて



Smart City Week 2011のコンセプトづくりからプログラムの構築、講師の選定は、自治体や企業の有識者からなる「ステアリングコミッティ」によって検討・議論し、決定いたしました。また、同メンバーには、新スマートシティ宣言に関しましても多大なご協力をいただいております。ステアリングコミッティのメンバーは以下の通りです(五十音順、敬称略)。



漆原順一 横浜市
文化観光局観光コンベンション振興部
戦略的事業誘致課長



岡村久和 日本IBM
スマーターシティ推進 部長



加藤孝夫 東芝
スマートコミュニティ事業統括部 部長



平栗 拓也 三菱商事 国際戦略研究所
産業調査チームリーダー



杉山 郁夫 日建設計シビル
理事 技師長 企画広報部長
名古屋大学客員教授



牧野 英治 日産自動車
ゼロエミッション事業本部
ZEV企画グループ部長



名倉 直 横浜市
温暖化対策統括本部企画調整部
プロジェクト推進課長



松岡 俊和 北九州市
環境局環境未来都市担当理事



橋本 徹 横浜市 政策局共創推進室
共創推進課担当課長
国際技術協力課担当課長



丸山 修平
日揮 顧問 事業推進プロジェクト本部



村岡 高 日立製作所
情報制御システム社
経営企画室担当部長
兼 スマートシティ事業統括本部本部長

セッション報告01

(K-1 新スマートシティ宣言 ・キーノート)

新スマートシティ宣言 都市問題と解決策(キーノート)

10月24日(月)

K-1

防災、健康・福祉・高齢化、人口、資源・水循環、エネルギー…
これからの都市に求められる要件

【主催者挨拶】

日経BP社 代表取締役社長
長田 公平



【ビデオメッセージ】

宮城県知事
村井 嘉浩氏



【スピーチ】

横浜市長
林 文子氏



【イントロダクション】

日経BPクリーンテック研究所長
望月 洋介



【特別講演】

アジアにおける都市化と日本への期待

世界銀行 Sector Manager Infrastructure East Asia and the Pacific Region Vijay Jagannathan氏



【課題と解決策1】資源循環

自然と人工の環境インフラが創生する未来都市「横浜」
～地球環境と防災の統合的アプローチ～

横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授 佐土原 聡氏



【課題と解決策2】防災

防災と都市

photo by 林孝謙

建築家 安藤 忠雄氏



【課題と解決策3】都市交通

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

富山市長 森 雅志氏



【課題と解決策4】健康・福祉・高齢化

スマートウェルネスシティへの挑戦

筑波大学大学院 人間総合科学研究科スポーツ医学専攻 教授/つくばWELNESSリーダー 代表取締役社長 久野 謙也氏



【課題と解決策5】エネルギー

世界のエネルギー展望と都市問題

国際エネルギー機関 (IEA) 前事務局長 田中 伸男氏



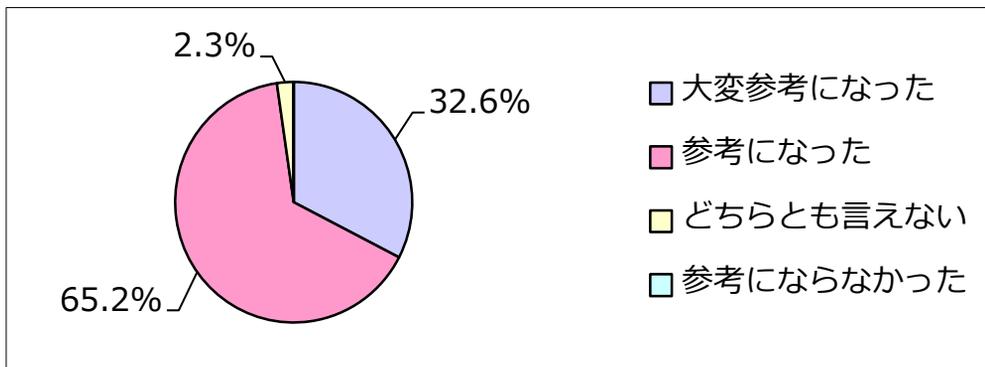
【課題と解決策6】水循環

スマートシティと水管理 日本の果たす役割とは?

国際水協会 (IWA) Executive Director Paul Reiter氏



セミナーの評価



アンケートから(コメント抜粋)

- 今回の講演を聞いてスマートシティの考えが少し変わった。
- 佐土原さんの話で、SmartCityの議題を体系的に理解出来ました。安藤さんの話は、相変わらず楽しく面白かった。富山市の森市長の取り組みには感動しました。
- 健康とまちづくりに大きな関係が有ると言う指摘には正直驚いた。
- 具体的でわかり易い話が多く、とても参考になった。短い時間で、とても内容が充実していた。
- スピーカーのラインアップはとても素晴らしかった。ただ、スピーカーとのQ&Aセッションが有った方が良いと思う。
- 全体的に非常に質の高い素晴らしい講演が集められ、行政、地方自治体のリーダー、計画の参考になるものでした。
- スマートシティに関し、いろんな面からのアプローチがあって、考えさせるものがあり、良かった。

セッション報告02

(K-2 新スマートシティ宣言・ラウンドテーブル)

K-2

新スマートシティ宣言 新興国のニーズと日本の役割 (ラウンドテーブル)

日本発！新しいスマートシティのあり方を徹底討論

10月25日(火)

【世界ニーズ①】 中国のエコシティ戦略と展望

中国社会科学院 都市発展環境研究所 所長 **潘家華氏**

【世界ニーズ②】 アジア開発銀行のサステイナブルシティプロジェクトと中国の都市資金調達について

アジア開発銀行 東アジア局 都市開発スペシャリスト **Jingmin Huang氏**

中国の智慧城市が求める日本への期待

野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部 中国・アジア地域担当部長 上級コンサルタント **横井正紀氏**

【パネルディスカッション 第1部】 見えてきたスマートシティの将来像

<p>パネリスト</p> <p>日本IBM スマーターシティ推進部長 岡村久和氏</p>	<p>横浜市 政策局共創推進室 共創推進課担当課長 国際技術協力課担当課長 橋本徹氏</p>
<p>日建設計シビル 理事 技師長 企画広報部長 /名古屋大学客員教授 杉山郁夫氏</p>	<p>日揮 顧問 事業推進プロジェクト本部 丸山修平氏</p>

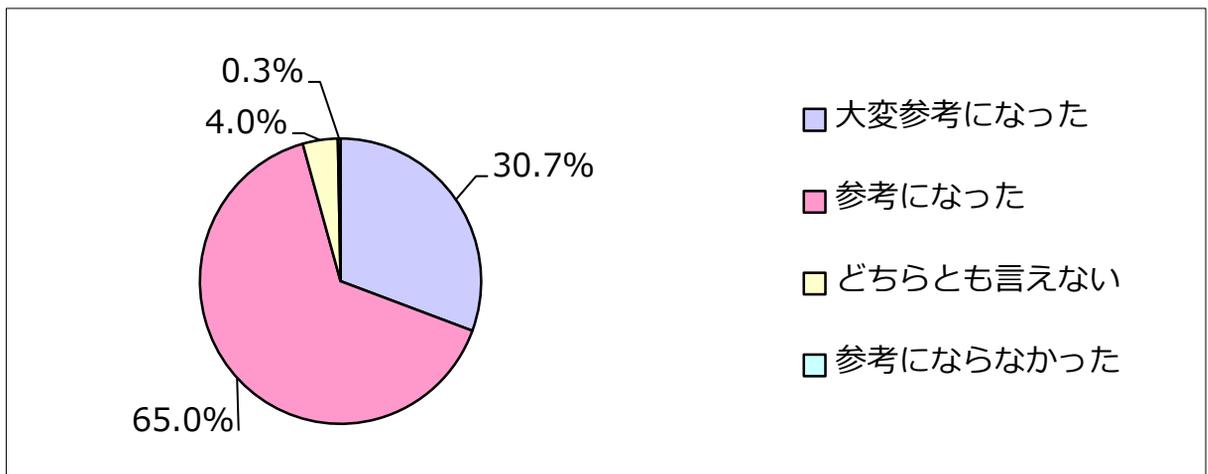
【パネルディスカッション 第2部】 スマートシティと日本の貢献

<p>パネリスト</p> <p>パナソニック エナジーソリューション 事業推進本部 本部長 石王治之氏</p>	<p>三井物産戦略研究所 新事業開発本部 新事業開発第一部 グリーン・イノベーション事業戦略室 研究フェロー 本郷尚氏</p>
<p>日立製作所 戦略企画本部グループ経営企画室 兼 スマートシティ事業統括本部 主管技師長 河野通長氏</p>	<p>日産自動車 ゼロエミッション事業本部 ZEV企画グループ部長 牧野英治氏</p>
<p>東芝 スマートコミュニティ事業統括部 統括技師長 篠原哲哉氏</p>	<p>北九州市 環境局 環境未来都市担当理事 松岡俊和氏</p>
<p>三菱商事 国際戦略研究所 産業調査チームリーダー 平栗拓也氏</p>	<p>日経BPクリーンテック研究所 所長 望月洋介</p>

【総括】 新スマートシティ宣言にむけたまとめ

日経BPクリーンテック研究所 所長 **望月洋介**

セミナーの評価



セッション報告03

(K-2 新スマートシティ宣言・ラウンドテーブル)

アンケートから(コメント抜粋)

- スマートシティに関し、これほど日数をかけ詳細に議論を展開したのは有難い。パネルディスカッション第2部は、様々な点で参考になりました。自分でももっと考えて勉強したいと思います。
- 毎年の継続をお願いします。
- 今回学生論文の参考の目的で、Smart City Week2011に参加しましたが、今まで見えなかったビジョンのみならず、ヒアリングの大切さ、そして主役である人々を納得させるビジョンをいかに提示するかが今後求められると実感しました。フォーラムで得た経験を生かして、よりいっそう論文作成に励んでいきたい。一住民としても今後もスマートシティに興味を持っていきたい。
- 常に、基本・原点をみんなで再確認する事が重要と思いました。
- 日本の技術力でこれからの事業展開に貢献できるという安易な考え方はやめて、全体を見据え、ユーザーニーズをよく聞き、その都度提案するという仕組み作りが重要だということを初めて理解できて良かった。
- 技術面からしかスマートシティを考えていなかったのも、目から鱗でした。大変参考になりました。
- 中小企業がスマートコミュニティプロジェクトに参画するビジネスモデルについても考える必要があると思います。大手企業は海外に進出する力がありますが、中小企業は財力が無くても技術があり、海外はそこに注目しています。そうした中小企業が海外のスマートコミュニティプロジェクトに参画できるモデルが欲しいところです。パネルディスカッション第2部のプレゼンでコミュニティ参画の議論は欧米では10年以上前から始まっており、そうした研究事例をもっと日本の研究者は知る必要があると思います。
- 「わが街のスマートシティ」のような実例に基く、成功例・失敗例を多数用意して欲しい。
- 意識の持ち方として考える事が多く、参加して良かった。
- スマートシティ構築への道のりが見えた気がするが、民間企業、営利団体としての参加形態が不透明な事も事実である。官・民の協力の必要性を感じた。
- 日本の環境対応技術、IT技術等を+α(生活向上力)と組み合わせたスマートシティ構築力は、官民一体となって世界に打って出るべきものだとも再確認しました。
- 小学校6年生の発表に感心しました。
- とても魅力的なテーマで、毎年参加して変化を感じたい。

セッション報告04

(K-3 スマートシティ国際会議)

10月26日(水)

10:00~17:35 International Conference

[日・英・中]の同時通訳となります

スマートシティ国際会議

会場：会議センター

K-3

世界のプロジェクト責任者が日本に集結！

【イントロダクション】

日経BPクリーンテック研究所 主任研究員 藤堂 安人



① 中国・曹妃甸エコシティ 巨大工業開発区で始まった日中共同プロジェクト

中国唐山市人民政府 副市長 李 天然氏



② ベトナム・ハノイプロジェクト 急成長するベトナムの首都の都市インフラ開発

ハノイ市及び周辺の建設計画・投資整備指導委員会委員長/元建設副大臣 Tran Ngoc Chinh氏



③ 中国・広州知識城 中国第3位の都市で相次ぐプロジェクトの全貌

中新広州知識城投資開発有限公司 上級副總裁 QUEK Keng Ngak氏



④ 英国・スマートエネルギー・サプライチェーン構築プロジェクト 英国版スマートグリッドの今、スマートエネルギーシステムの実現に向けて

英国エネルギー研究センター (UKERC) ナレッジエクスチェンジアソシエート Aidan Rhodes氏



⑤ ドイツE-Energyプロジェクト ドイツが生み出すスマートエネルギー

ドイツ経済技術省委託 E-Energyプロジェクト マネジメントオフィスBAUMリダー Alexander von Jagwitz氏



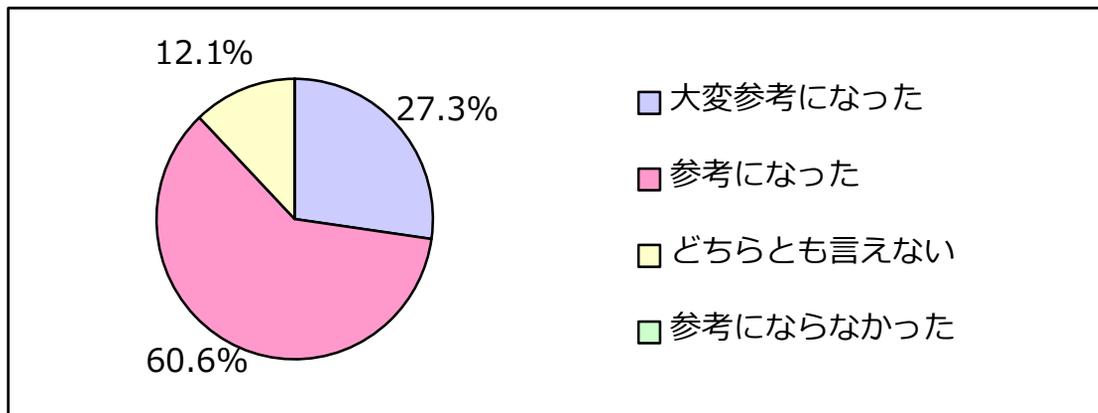
⑥ インドネシア・MPAプロジェクト 日本の協力で始まった首都・ジャカルタの再開発

インドネシア Infrastructure and Regional Development Deputy Minister Luky Eko Wuryanto氏



⑦ 【パネルディスカッション】 受講者と講師によるQ&Aセッション

セミナーの評価



アンケートから(コメント抜粋)

●電力系の双方向制御コミュニケーションという意味でのスマートグリッド、EV充電なども導入したスマートシティの方向性は先進国においては明確。その意味で参考になる部分が多かった。

セッション報告05

(K-4 未来都市計画会議)

10月27日(木)

10:00~17:50 International Conference

[日・英・中]の同時通訳となります

未来都市計画会議

監修:日経アーキテクチュア 会場:会議センター

K-4

先駆者が示す新しい都市ビジョンと実現のカギ

① スマートシティ実現に向けて解決すべき課題
(地域丸ごと省エネを推進するには)

日建設計総合研究所 理事長 松縄 堅氏



④ 森ビルが実践するスマートシティ

森ビル 取締役 副社長執行役員 山本 和彦氏



② 中東における街づくりと日本企業への期待

(UAE・ドバイ) ナキール プロジェクトディレクター 中田 光和氏



⑤ 中国における都市開発プロジェクトと
日本企業への期待

(中国) 万科企業股份有限公司 総工務師 趙 漢昌氏



③ レジリエントな(回復力のある)都市設計とは

(英) Arup Fellow / Director / Senior Sustainability Consultant Chris Twinn氏

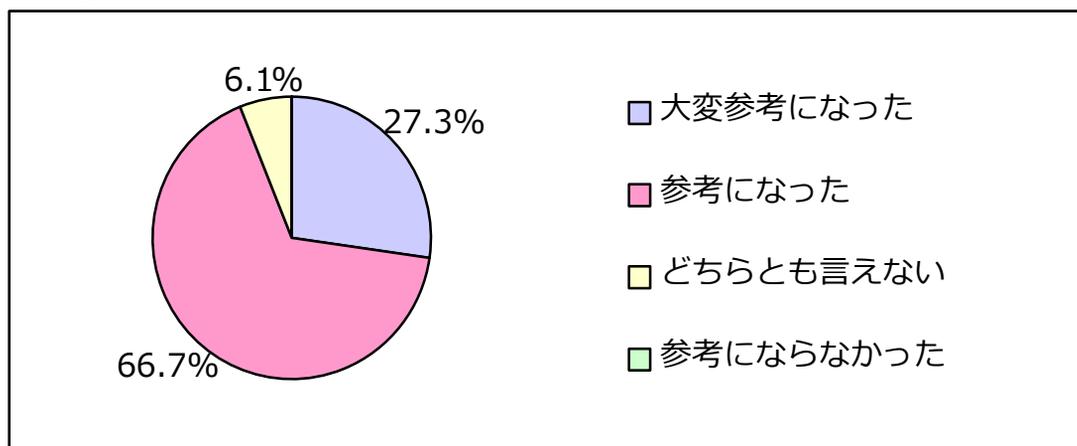


⑥ 東日本大震災を踏まえた
スマートコミュニティへの取り組み

清水建設 専務執行役員 技術担当 東條 洋氏



セミナーの評価



アンケートから(コメント抜粋)

- 新しいコンセプト、世界の動きを学ぶことができた。
- インフラ・設備の上に成立するであろうサービスビジネス視点での内容があると実に良かった。
- Chris Twinn氏の内容は大変参考になった。もっと詳しく聞きたい。また、プレゼンテーションの英語も大変良かった。

セッション報告06

(K-5 新スマートシティ宣言 ・リーダーズサミット)

10月28日(金)

9:45~17:30

International Conference

[日・英・中]の同時通訳となります

新スマートシティ宣言：リーディング企業の戦略 (リーダーズサミット)

会場：会議センター

K-5

次世代への助走、TOPからの提言

①【挨拶】

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長 新原 浩明氏

② 未来を創るスマートコミュニティ

東芝 取締役代表執行役社長 佐々木 則夫氏

③ ITで都市をより賢く、スマートに

日本IBM 代表取締役社長執行役員 橋本 孝之氏

④ ゼロ・エミッションモビリティとスマートシティ

日産自動車 最高執行責任者 志賀 俊之氏

⑤ カント総裁が語るDMIC構想と日本への期待

Dehi Mumbai Industrial Corridor Development Corporation CEO & MD Amitabh Kant氏

⑥ 日立が考えるスマートな次世代都市

日立製作所 執行役常務 情報制御システム社 社長 齊藤 裕氏

⑦ 建築・都市の環境とBCPをスマートに繋ぐ nikken.jp

日建設計 代表取締役社長 岡本 慶一氏

⑧ スマートシティが生み出す新たなライフスタイル

日本ビューレット/バックカード 代表取締役 社長執行役員 小出 伸一氏

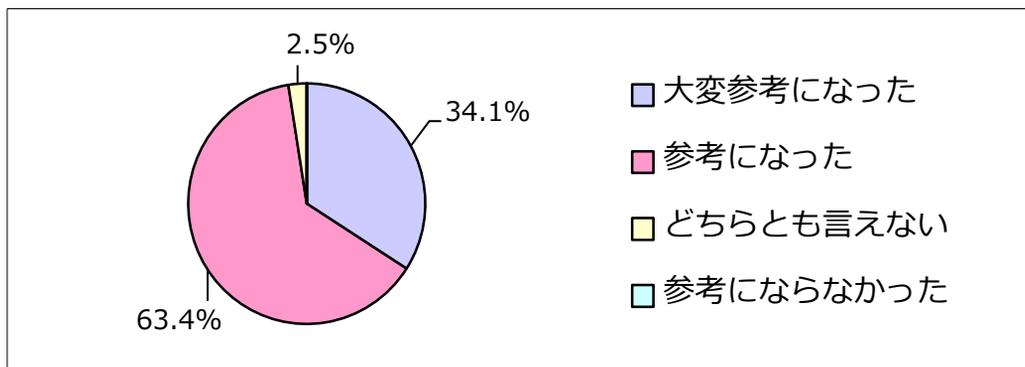
⑨ 「スマートシティプロジェクト」
企業連携による「トータルソリューション」の展開に向けて

イノベーションズ 代表取締役社長 佐々木 経世氏

⑩ クロージングリマックス
Smart City Week 2011 閉会にあたって

日経BPクリーンテック研究所長 望月 洋介

セミナーの評価



アンケートから(コメント抜粋)

- スマートシティ関連企業による密度の高い講演が多数有り、有意義であった。
- 最近の国の考え方、企業の動きが良くわかった。
- 2012年も開催をお願いします。スマートシティのこれからの進化が楽しみです。
- 大変参考になる講演に参加させて頂き、お礼申し上げます。次世代のスマートシティのイメージが良く理解出来ました(見えて来ました)。
- 最後のスマートシティ宣言はとても良かった！
- 大手企業が本気でビジネスをやろうとしていることが分かった。

セッション報告07

(T-1再エネビジネス 次の本命)

日時: 10/25 (火) 9:40~16:30 T-1 会場: パシフィコ横浜 会議センター 監修: 日経エコロジー

Technology Session
再エネビジネス 次の本命
5つの有力技術 事業化の糸口と成長のシナリオ

- 1.再生可能エネルギーが日本を救う**
日経BP社 日経エコロジー副編集長
金子 廉治
- 2.期待が高まる地熱発電と日本の技術力**
富士電機 取締役 執行役員 エネルギー事業本部長
米山 直人 氏
- 3.洋上浮体風力発電—日本の総電力を賅える!? 資源量と技術動向、商業化の条件**
東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授
鈴木 英之 氏
- 4.海洋温度差発電/排熱温度差発電**
ゼネシス 代表取締役社長
真原 虎幸 氏
- 5.太陽熱発電 - 世界市場で勝つためのエンジニアリング技術と部品技術**
三井造船 機械・システム事業本部 事業開発部 部長
奥 幸之介 氏
- 6.藻類 (バイオマス燃料) - 藻類産業の創成と日本が“産油国”になる方法**
筑波大学大学院 生命環境科学研究科 CREAT Project 研究員
志磨 謙 氏

アンケートから(コメント抜粋)

- 時間運営が適切で、会場のスクリーンも見やすく、非常に良い環境。質疑応答の時間を設定すると更に良いセミナーになると思います。
- 背景や概要の説明から実証例を挙げてもらい、参考になった。聴講者の分野へのアドバイスや私見などもあれば良かった。
- 次世代の可能性について幅を感じることができた。
- 冒頭の全体レビューとおりに、質のある良いセミナーだった。Q/Aタイムのないのが残念！！
- PV(太陽光発電)、陸上風力以外の再エネの講演に注力しており、テーマの選定は良いと思った。内容的にも満足。
- 技術の内容だけでなく、普及に向けた課題・海外事例を聞いて良かった。ただ、国内ビジネス(国内導入)になり得るものが、やや少ない事が気になる。

セッション報告08

(T-2 スマート・ネットワーク)

日時: 10/25 (火) 10:15~16:50 T-2 会場: パシフィコ横浜 会議センター 監修: 日経エレクトロニクス

Technology Session
スマート・ネットワーク

家庭の省エネ通信/ネットワークの主導権争い激化、本命は？ 後援: IEEE (アイトリブライー)

	1.スマート・エネルギー・ネットワークに関する東京ガスの取り組み 東京ガス 技術開発本部 商品開発部 通信・メーター開発G 古沢 肇 氏
	2.スマートグリッド実現に向けた無線LAN (IEEE802.11) の取り組み IEEE802.11委員会 委員長 Bruce Kraemer 氏
	3.スマート・ネットワークを実現するローパワー無線技術「WiSUN」について NICT ワイヤレスネットワーク研究所, スマートワイヤレス研究室 専員 原田 博司 氏
	4.ZigBeeの考えるスマートネットワーク ZigBee SIG ジャパン 理事長 (NECエンジニアリング) 原藤 和正 氏
	5.家庭の機器を無線で遠隔制御できる「Z-Wave」について Sigma Designs Japan Director of Business Development, APAC 南 耕二 氏
	6.あらゆるグリッドにおける通信障害を解決するG3-PLC 米Maxim Integrated Products.Inc Vice President James Bates 氏

アンケートから(コメント抜粋)

- スマートネットワークの実現に向けた各分野の動向が参考になった。内容も分かり易かった。
- 機器に必要なネットワークの仕様など全般的に知る事ができ、ためになった。
- 技術ベンダーを一同に集めていただいてよい機会となった。発表者と話す時間があればもっと良かったと思う。(立食ランチなど)

セッション報告09

(T-3 電力事情激変で立ち上がる日本のエネルギー新ビジネス)

9:45~16:45 Technology Session

電力事情激変で立ち上がる日本のエネルギー新ビジネス

監修:日経エコロジー
会場:会議センター

T-3 位置づけ高まる電力マネジメントサービスと分散電源

① 立ち上がるエネルギー新ビジネス 3つの視点 日経エコロジー副編集長 金子 憲治	⑤ 日本初のデマンドレスポンスサービス実施 変わる電力事業 NTT ファシリティーズ エネルギー事業本部 ESP 推進部長 竹内 典和氏
② 日本のエネルギー戦略 見直しのシナリオ 東京工業大学 ソリューション研究機構 教授 柏木 孝夫氏	⑥ 家庭向け分散型電源普及の鍵を握るエネルギーマネジメントサービス 静岡ガス ガス営業統括部 燃料電池推進プロジェクトリーダー 中井 俊裕氏
③ スマート国民総発電所構想 ~ネットワーク化するエネルギーと今後のビジネス展開~ 一般社団法人スマートプロジェクト代表 エコポイント提唱者 元内閣審議官・東京大学大学院客員教授 加藤 敏春氏	⑦ 世界の事例を通して見る、日本の電力とエネルギービジネスの展望 ABB スマートグリッド事業部長 赤峰 陽太郎氏
④ 討論:縮原発から発送電分離まで政策の見通しから占うビジネスチャンス 【パネルディスカッション】 進行:日経エコロジー 副編集長 金子 憲治 パネリスト:柏木 孝夫氏 加藤 敏春氏	⑧ 討論:スマートエネルギーの技術開発とビジネスへの展開 【パネルディスカッション】 進行:日経エコロジー プロデューサー 中西清隆 パネリスト:中井 俊裕氏 赤峰 陽太郎氏

アンケートから(コメント抜粋)

- スマートグリッドが、今どの方向に向かうべきか知ることが出来ました。
- 国策として、ビジネスとして、エネルギー消費者であるお客様のメリットとして、スマートグリッドの目的を改めて考え直すいい機会になりました。自社が何が出来るか考えてみたいと思います。
- 危機感を持たた。
- エネルギーインターネットとはどのようなものか、概念から具体化へしていくという提案は非常に参考になった。
- 色んな視点からの講演があり、視野を広げる事が出来ました。

セッション報告10

(T-4 スマート・エネルギー)

スマート・エネルギー

監修:日経エレクトロニクス 会場:会議センター

T-4

エネルギーを賢く貯めて、賢く使う

① 蓄電システムと太陽光発電システムで創るスマートグリッド社会

～加西グリーンエナジーパークでの大規模実証実験～

三洋電機 エナジーデバイスカンパニー 大型蓄電事業部 副事業部長 花房 寛氏

② 電力の自立化を支える環境エネルギーソリューション

NEC 新事業推進本部 環境エネルギー事業推進部 統括マネージャー 山崎 俊太郎氏

③ 世界に先駆けて実用化する家庭用燃料電池 SOFC

JX 日鉱日石エネルギー 常務執行役員 新エネルギーシステム事業本部長 荒木 康次氏

④ 自然エネルギー(太陽光)を利用した発電における課題と解決策

東芝 社会インフラシステム社 電力流通システム事業部 太陽光発電システム推進部 技監 稲葉 道彦氏

⑤ 太陽光発電と蓄電池の連携による携帯電話基地局の省エネ技術

KDDI 技術開発本部 技術戦略部 企画グループ 課長補佐 後藤 弘氏

アンケートから(コメント抜粋)

- 様々な視点から考えるいい機会になった。
- コンセプトに傾かず現実的な話はわかりやすかった。色々と参考になった。

セッション報告11

(T-5 スマートハウス・ビル・ストア)

10:15~17:40 Technology Session

T-5 スマートハウス・ビル・ストア

監修:日経エレクトロニクス 会場:会議センター

T-5 HEMS/BEMSの実証実験から課題と方向性を探る

① なぜ、米国の電力事業者はHEMS/BEMSに積極的なのか

Wireless Glue Networks, Inc. CTO/Founder **John Lin 氏**

② 家庭/ビルに向けたスマート・エネルギー・ソリューション

日本テキサス・インスツルメンツ 営業・技術本部 マーケティング/応用技術統括部 統括部長 **山口 康和氏**

③ BEMSの最新動向と需要抑制への取組み

山武 ビルシステムカンパニー マーケティング本部 環境マーケティング部 部長 **甘利 健氏**

④ 「ICT技術」と「エネルギー管理技術」の融合による省エネソリューション クラウド型 省エネルギー マネジメントサービス

三井情報 サービス事業本部 本部長補佐、SaaS事業部 GEM事業室 室長 **橋本 健氏**

⑤ 太陽光発電住宅10万棟の実績から見えてくる次世代住宅の姿

積水化学工業 住宅カンパニー 技術部 環境・快適住宅推進G 課長 **太田 真人氏**

⑥ HEMSの市場確立と普及に向けた「HEMSアライアンス」の活動について

HEMSアライアンス(東京電力 グループ事業部 部長) **馬場 博幸氏**

⑦ 節電が切り開くオフィスビルや家庭のスマート化

NTTデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティング本部 本部長 パートナー **村岡 元司氏**

アンケートから(コメント抜粋)

- 非常に興味深いテーマばかりでした。
- 課題についての言及が多くあるのがとてもよかった。

セッション報告12

(T-6 スマート・ライティング)

スマート・ライティング

監修:日経エレクトロニクス 会場:会議センター

T-6

LEDとITを融合し、“賢い照明”を実現へ

① 知的照明システムと新たな照明の価値

同志社大学 理工学部 教授 三木 光範氏

② 人と環境にやさしい次世代オフィス照明の追求

岡村製作所 マーケティング本部 オフィス研究所 所長 大田 友祐氏

③ 照明が変える人々の生活 — Enhance people's life with light

フィリップス エレクトロニクス ジャパン ライティング事業部 事業部長 岸 和紀氏

④ 世界初“全館LED照明”のECOオフィス!調光制御による人と照明の最適空間と省エネ効果

IDEC 防塵・システム事業部 清水 亨氏

⑤ インテリジェントLED照明を実現する半導体ソリューション

ルネサス エレクトロニクス マーケティング本部 汎用システム統括部 統括部長 市川 正臣氏

⑥ スマート・ライティング — “賢い照明”のインパクト

東京大学 情報理工学系研究科 教授 江崎 浩氏

アンケートから(コメント抜粋)

- 製品の紹介等あまりなかったので、全体的に分かりやすく良かった。
- これからの分野でありながら、興味ある講演がバランスよくそろっていた。

セッション報告13

(T-7 EV・電池業界 ビジネス&技術展望2015)

9:45~15:40 **Technology Session**

EV・電池業界 ビジネス&技術展望 2015

監修:テクノアソシエーツ 会場:会議センター

T-7

日本・欧米・中国におけるスマートコミュニティ事業機会を明らかに

① 2015年に蓄電池業界はこうなる

テクノアソシエーツ プリンシパル 朝倉 博史氏

② 定置用蓄電池はどこまで使われるか

テクノアソシエーツ プリンシパル 朝倉 博史氏

③ 定置用蓄電池の有望アプリケーション・市場・投資分析

テクノアソシエーツ ヴァイス・プレジデント 宮崎 信行氏

④ EVの普及と社会システムの変貌に潜む20の仮説

テクノアソシエーツ プリンシパル 大場 淳一氏

⑤ スマートグリッドのビジネスモデル(北米編) ～エネルギー・マネジメントの
事業機会と最新事例～

テクノアソシエーツ プリンシパル 大場 淳一氏

⑥ スマートコミュニティに見るEV・電池業界事情(米国編)

テクノアソシエーツ プリンシパル 大場 淳一氏

⑦ スマートコミュニティに見るEV・電池業界事情(欧州編)

テクノアソシエーツ マネージャー 木村 勲氏

⑧ スマートコミュニティに見るEV・電池業界事情(中国編) 中国の
新エネルギー車動向

テクノアソシエーツ プリンシパル 白石 泰基氏

セッション報告14

(A-1、B-1、C-1 次世代モビリティ)

10:30~17:10

監修:日経Automotive Technology・日経エレクトロニクス 会場:会議センター

次世代モビリティ [A1]車両編 ~HEVやEVの最新動向 [B1]要素技術編 ~電池やモータの最新動向 [C1]中国のEV/HEV最前線

【パネルディスカッション】日本・中国における電動車両の将来動向を探る [A1] [B1] [C1] 共通です。

モデレーター	デロイト トーマツ コンサルティング マネジャー 周 磊氏	日経Automotive Technology編集長 鶴原 吉郎
パネリスト	本田技術研究所 第5技術開発室主任研究員 山本 恵一氏	中国第一汽車集団公司 技術中心電動車部 部長 劉 明輝氏
	東芝 社会インフラシステム社 自動車システム統括部 eドライブシステム技術部 グループ長 荒木 邦行氏	上海電駆動有限公司 總經理 賈 俊氏
	アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネスプランナー 田中 栄氏	

A1 ① 新ハイブリッド車「プリウスα」の役割	トヨタ自動車 製品企画本部 主査 粥川 宏氏	B1 ① 電動車両に向けたワイヤレス給電システムへの取り組み	昭和飛行機工業 IPS・EV事業室 技師長 高橋 俊輔氏
A1 ② パワートレインの適合作業を大幅に効率化できる高精度モデル化技術	ETAS GmbH Senior Product Manager for Model Based Calibration Methods Thomas Kruse 氏	B1 ② ハイブリッド車に向けたリチウムイオンキャパシタへの取り組み	旭化成FDKエナジーデバイス 鈴木 靖生氏
A1 ③ 電気自動車戦略とV2Hに対する取り組み	三菱自動車工業 開発統括部門 開発本部 副本部長 兼 EV・パワートレインシステム技術部長 久米 建夫氏	B1 ③ EV/HEV用高効率モータドライブシステム	安川電機 インバータ事業部 電気駆動システム事業統括部 開発部 部長 山田 健二氏
A1 ④ フーガ向け1モーター2クランチパラルレルハイブリッドシステムの開発	日産自動車 パワートレイン開発本部 パワートレイン第四製品開発部 第一-HEV製品開発グループ 主査 早崎 康市氏	B1 ④ HEV・EVドライブシステムを支える最新技術と次世代システムへ向けての取組み	東芝 社会インフラシステム社 自動車システム統括部 eドライブシステム技術部 グループ長 荒木 邦行氏
C1 ① 次世代自動車関連動向の分析を通じた中国自動車市場展望	デロイト トーマツ コンサルティング マネジャー 周 磊氏	C1 ③ 中国における電動駆動システムの研究開発と産業化の最前線	上海電駆動有限公司 總經理 賈 俊氏
C1 ② 一汽集団におけるEV/HEVの研究開発	中国第一汽車集団公司 技術中心電動車部 部長 劉 明輝氏	C1 ④ 中国における車載用先端動力バッテリーの研究開発動向	天津電源研究所 プロジェクト責任者 肖 成偉氏

アンケートから(コメント抜粋)

A-1

- パネルディスカッションの試み自体は斬新で良い。進行も好印象であった。

B-1

- パネルディスカッションのプレゼン内容は良かった。
- 日中の技術者によるカンファレンスは初参加であったため、新鮮な部分があった。中国技術の進み具合も触れることができたので良かった。
- 自動車電動化動向、構成部品の現状の開発状況～将来に向けての課題が良く理解できた。
- EV/HEVの技術要素がそれぞれ取り上げられていて良かった。

C-1

- 中国国内の状況がよく理解できました。中国国内メーカー同士の関係やサプライヤーの関係がわかるとよりよかったです。バッテリーの国の支援の状況、規格がよくわかりました。
- 中国の実務担当者の意見が聞けてよかった。
- モデレーターも含め素晴らしい内容でした。時間通りに進み、随所にQAが含まれていたため非常に満足できました。各レクチャーの合間の周さんの補足や、各スピーカーが相方のお話を盛り込み間接的に意見交換がなされてたのも大変ためになりました！

セッション報告15

(A-2、B-2 次世代モビリティ)

10:30~17:10

次世代モビリティ

監修:日経Automotive Technology・日経エレクトロニクス
会場:会議センター

[A2] 車両編 ~EVやHEV向け技術の最新動向

[B2] 要素技術編 ~カーエレクトロニクス技術の最新動向

【パネルディスカッション】どうなる？ クルマとエレクトロニクス/ITの関係 **[A2] [B2] 共通です。**

モデレーター	日経エレクトロニクス編集長 田野倉 保雄	パネリスト	日産自動車 電子技術開発本部 IT&ITS開発部 IT/テレマティクス先行開発グループ 主担 野村 高司氏 富士重工業 スバル技術研究所 担当部長 兼 スバル技術本部 技術開発部 担当部長 樋渡 穰氏 ハイオニア 経営戦略部 事業開発担当部長 カー事業戦略部長 畑野 一良氏
--------	-----------------------------	-------	--

A2	① EV専用ICTシステムと新たな社会システムづくり 日産自動車 電子技術開発本部 IT&ITS 開発部 主担 小畑 哲氏
-----------	--

A2	② HEV/EVのActive Green, Passive Greenを支える次世代技術 富士通セミコンダクター マイコンソリューション事業本部 自動車事業部 ソリューション技術部 プロジェクト課長 神 俊一氏
-----------	---

A2	③ SIM-LEI の車体設計概要 最小の投資で電気自動車を生産・普及する設計理念 シムドライブ ボディ開発部長 兼 開発監(リンクリサーチエンジニアリング代表取締役) (慶応義塾大学大学院教授・メディア研究科特別研究教授) 小松 隆氏
-----------	---

A2	④ すべての自動車が電気になるまで。スーパーカーを再定義した、テスラロードスターとは テスラモーターズ アジア太平洋地域担当ディレクター Kevin Yu 氏
-----------	--

B2	⑤ マツダの安全への取り組みと、リアビークルモニタリングシステム(RVM)の紹介 マツダ 車両開発本部 車両システム開発部 部長 内藤 久佳氏
-----------	--

B2	⑥ ステレオカメラで進化するクルマの安全機能 富士重工業 スバル技術研究所 担当部長 兼 スバル技術本部 技術開発部 担当部長 樋渡 穰氏
-----------	--

B2	⑦ AR技術によるカーナビゲーションの新たな可能性 ハイオニア カー市販事業部 マルチメディア事業企画部 企画1課 課長 山下 元之氏
-----------	--

B2	⑧ カーエレクトロニクス技術の最新動向 ポツシュ 専務取締役 技術コーディネーション 新技術・開発 担当 押澤 秀和氏
-----------	--

アンケートから(コメント抜粋)

- A-2**
- 普段従事している業務は自動車とは直接関係ないが、スマートハウスやEVの関連から今後、技術を活かせる場面がたくさんあることを気付かされました。視野も広がり、有用なセッションだったと思います。
 - 興味深い話が多くよかった。特に日産リーフの量産動画はなかなか見られるものではないと考えるので貴重な情報となった。
 - もう少し、深掘りした話が聞きたかった。これまでの実績はよく分かったが、今後どうなるか？ についての考えをもっと知りたい。
 - 自動車のICT活用に興味があったので大変参考になった。

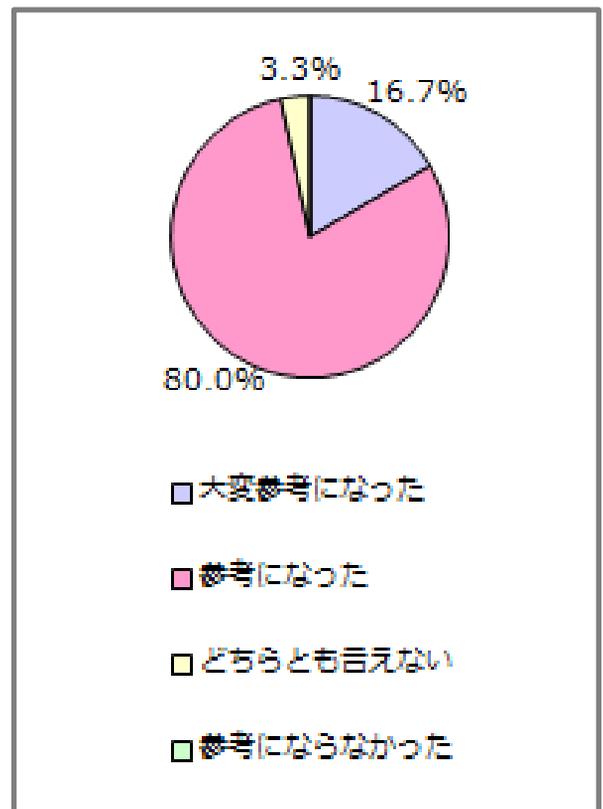
- B-2**
- 有益でした。各セッション90分程度でじっくりプレゼンして頂けると、なお良かったのではないかと感じました。
 - 各社の技術開発の歴史が垣間見えて良かったと思います。

セッション報告16

(日本スマートシティ会議)

プログラム	
本講演会の講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます、予めご了承ください。	
1030～ 1045	<p>【基調講演】 スマートシティ推進への動向を把握して一環型モデル都市・脱炭素の挑戦</p> <p>熊本市 熊本市長 伊藤 達生 氏</p> <p>講演概要</p>
1045～ 1125	<p>～浜松シティからロアノバへの脱炭素へ～ スマートコミュニティ事業の取り組みについて</p> <p>愛知 スマートコミュニティ事業推進部 部長 渡辺 悠希 氏</p> <p>講演概要</p>
1120～ 1210	<p>持続可能なコミュニティ創り色覚える～サステイナブル・グッド</p> <p>埼玉県 文化人、スマートグッドプロジェクトリーダー 佐藤 隆利 氏</p> <p>講演概要</p>
1210～ 1230	(昼休み)
1320～ 1400	<p>【基調講演】 スマートシティへの挑戦～北九州スマートコミュニティ推進事業～</p> <p>北九州市 環境局環境企画課長 長岡 浩和 氏</p> <p>講演概要</p>
1405～ 1445	<p>スマートシティと地域活性化 - 進むスマートシティと地域の新しい風にする為の自治体の取り組みべきこと</p> <p>日本コミュニケーションセンター 次世代・社会システム事業推進本部 部長 藤野 実貴 氏</p> <p>講演概要</p>
1450～ 1530	<p>地域と歩み始めたグリーン・コミュニティの実現</p> <p>国際戦略・イノベーション推進部 代表取締役社長 高木 雅也 氏</p> <p>講演概要</p>
1545～ 1645	<p>パネルディスカッション</p> <p>パネリスト</p> <p>熊本市 熊本市長 伊藤 達生 氏 北九州市 環境局環境企画課長 長岡 浩和 氏 富山県 富山県知事 奥野 寛太郎 氏 東京都 東京都知事 小池 忠志 氏</p> <p>講演概要 講演概要 講演概要 講演概要</p>
	<p>モデレーター フューチャーの研究所長 樋口 史夫</p> <p>講演概要</p>

セミナーの評価



セッション報告17

(横浜デー)

14:00~17:30 **Special Session**

横浜デー —世界に誇る横浜のスマートなまちづくりを知る日

会場：会議センター

① 主催者挨拶

横浜市副市長 小松崎 隆氏

② オープニングスピーチ

横浜商工会議所副会長
太田 嘉雄氏
横浜市立大学副学長 兼 グローバル都市協力研究センター
重田 諭吉氏

③ 横浜の資源・技術を活用した公民連携による
国際技術協力「Y-PORT事業」について

④ 横浜スマートシティプロジェクト

～脱温暖化とエネルギーセキュリティを実現する持続可能な都市を目指して～

⑤ 横浜スマートコミュニティ

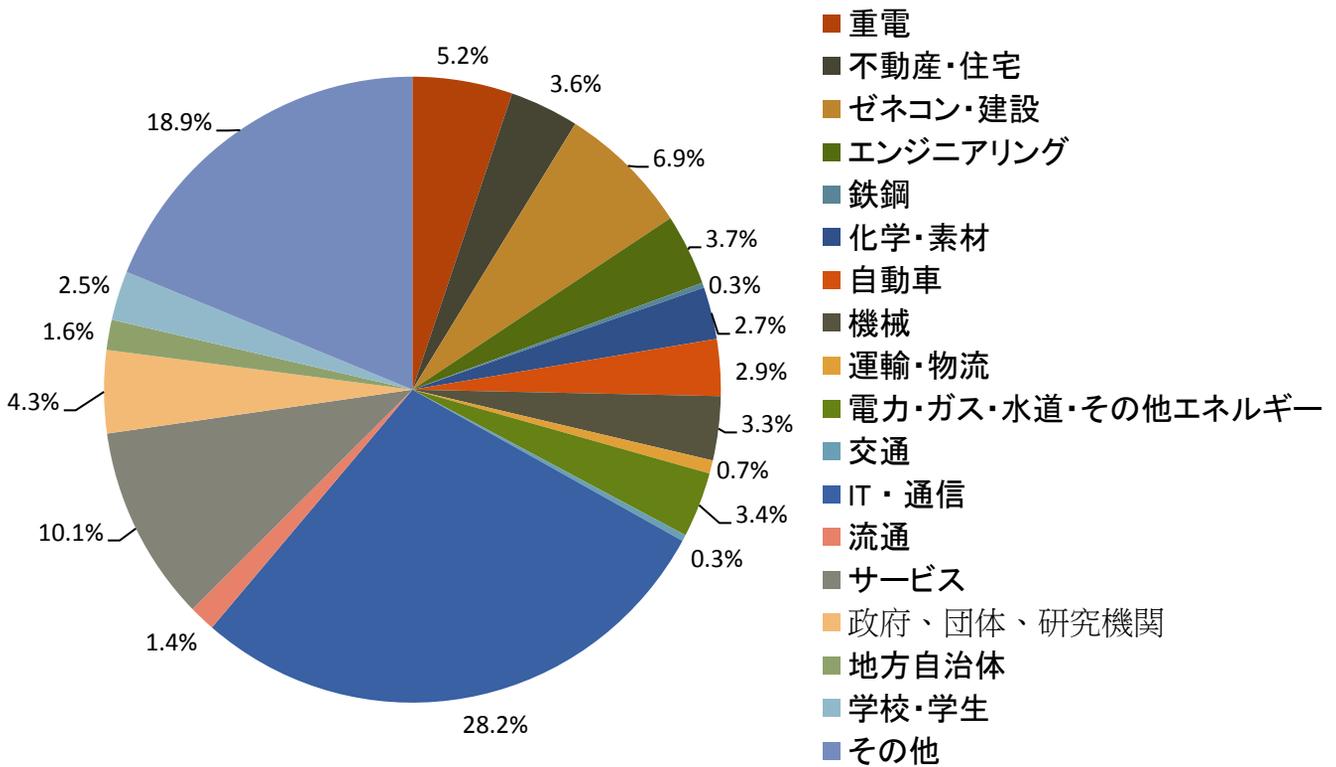
～中小企業の技術を活かせるスマートグリッドプロジェクトについて～

⑥ 横浜市の上水道分野における国際貢献と
海外水ビジネス支援について

⑦ スマートシティの実現を牽引する
市内中小企業の技術・取組について

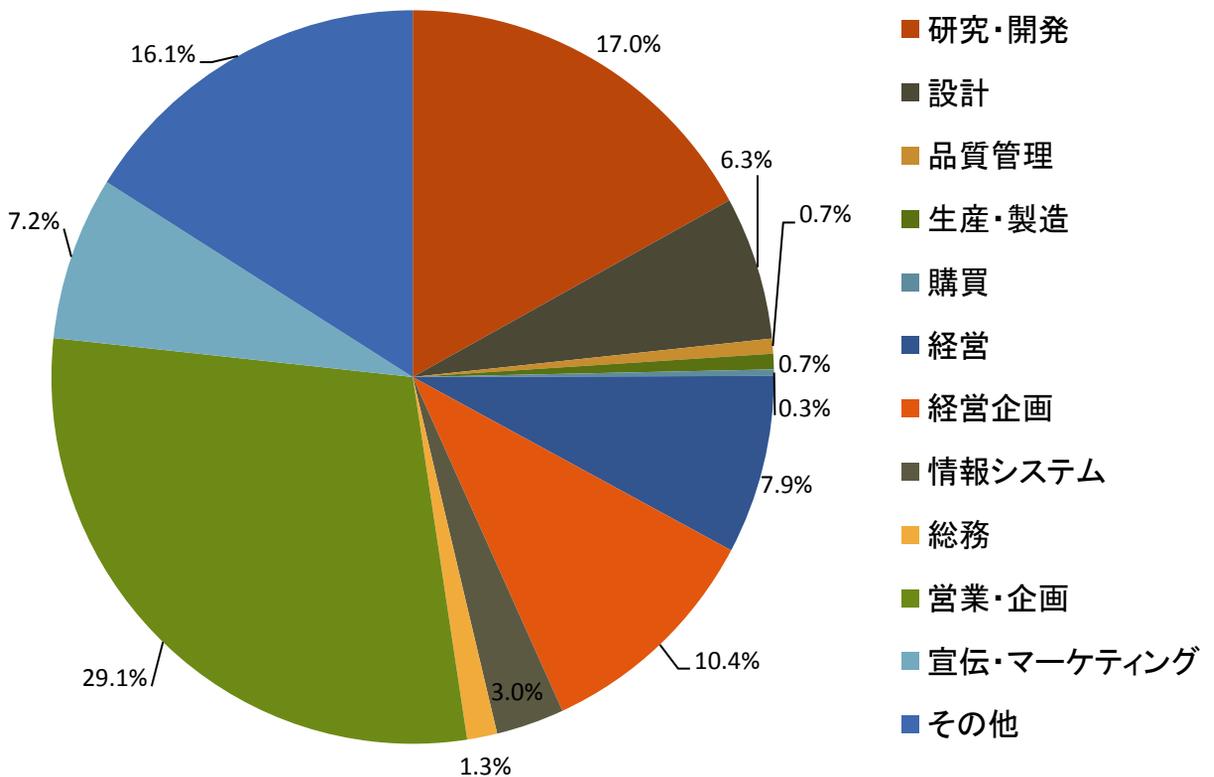
来場者属性分析01

あなたの勤務先の業種は？(1つにチェック)



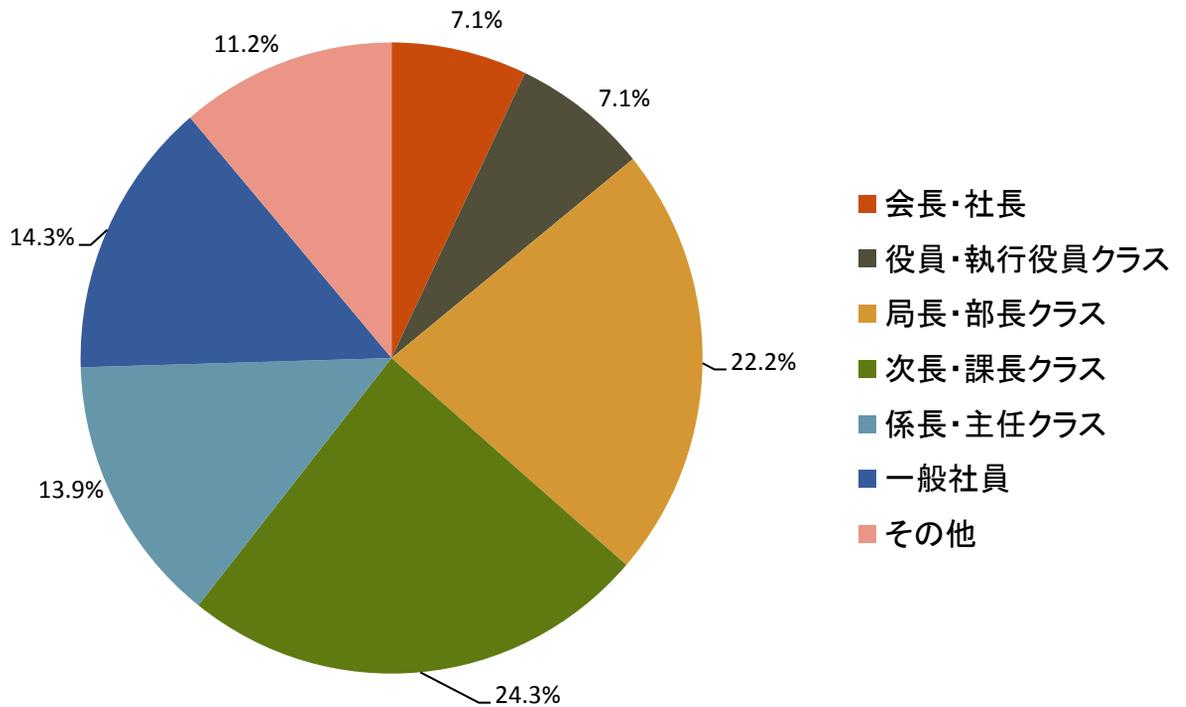
来場者属性分析02

あなたの職種は？(1つにチェック)



来場者属性分析03

あなたの役職は?(1つにチェック)



『Smart City Week 2012』 開催予告

次回、「Smart City Week 2012」は2012年10月29日(月)～11月2日(金)、横浜で開催する予定です。

今回、Smart City Week 2011で採択した「新スマートシティ宣言」をベースに世界の動向をとらえ、国内外の知見を集約していきます。

来年も多くの皆様のご参加をお願いいたします。

日経BPクリーンテック研究所長

望月 洋介

Smart City Week 2012開催概要

会期： 2012年10月29日(月)～11月2日(金)

会場： パシフィコ横浜

主催： 日経BP社